

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	専門知識のベースとなる関連領域（数学・物理学・化学・生物学・情報）の基礎を修得する。
観点(B)	分子の挙動に基づいた工学的総合技術である「生命工学」の専門知識を修得するとともに、原理原則に基づいて論理的に先端領域に対応するための力を身につける。
観点(C)	生命工学に要求される社会的ニーズを理解し、持続的な社会発展に向けた問題解決能力・研究開発姿勢を身につける。
観点(D)	社会や倫理など科学・技術に留まらない多様な観点から「生命工学」の研究の意義を理解し、最新の技術情報とともに国内外に伝える能力を身につける。

区分	授業科目	観点				
		A	B	C	D	
全学共通教育科目	工学基礎実験	○				
	科学技術と社会				○	
	融合科目				○	
	共生人文社会科学A				○	
	共生人文社会科学B				○	
	リテラシー科目				○	
	スポーツ健康科学科目				○	
	日本語科目				○	
	日本事情科目				○	
	線形代数学I	○				
	微分積分学Iおよび演習	○				
	物理学基礎	○				
	化学基礎	○				
	生物学基礎	○				
	線形代数学II	○				
	微分積分学IIおよび演習	○				
	数理統計学	○				
	量子力学概論	○				
	熱力学	○				
	電磁気学	○				
	地学	○				
	地学実験	○				
	専門基礎科目	微分方程式I	○			
		関数論	○			
		バイオインフォマティクス基礎	○			
		光・波動	○			
		基礎生物化学	○			
基礎分子生物学		○				
基礎生態学		○				
基礎生物学実験		○				
生命物理化学I		○				
生命物理化学II		○				
生命有機化学I		○				
生命有機化学II		○				
生命分析化学		○	○			
生命無機化学		○				
機器分析学		○	○			
生命化学I		○				
生命化学II		○				
分子生物学I		○				
分子生物学II		○				
細胞生物学I		○				
細胞生物学II	○					

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門基礎科目	ライフサイエンス基礎演習I	○			
	ライフサイエンス基礎演習II		○		
専門科目	生命工学の最先端I		○	○	
	生命工学の最先端II		○	○	
	生命科学英語		○	○	
	蛋白質科学		○	○	
	免疫工学		○	○	
	植物工学		○	○	
	先端機器分析学		○	○	
	地球環境工学		○	○	
	生理学I		○	○	
	生理学II		○	○	
	細胞再生工学		○	○	
	脳神経科学		○	○	
	生命科学特別講義		○	○	
	生命工学の最先端III		○	○	
	生命工学の最先端IV		○	○	
	生命技術英語		○		○
	メディシナルケミストリー		○	○	
	バイオプロセスエンジニアリング		○	○	
	食品・医薬品開発工学		○	○	
	医療・組織工学		○	○	
	レギュラトリーサイエンス		○	○	
	生体電子工学		○	○	
	マリンバイオテクノロジー		○	○	
	応用ゲノミクス		○	○	
	身体運動科学概論				○
	生命技術特別講義		○	○	
	生命工学実験I		○	○	
	生命工学実験II		○	○	
	生命工学実験III		○	○	
	生命工学実験IV		○	○	
	生命工学特別実験		○	○	
生体機能工学演習I		○	○		
生体機能工学演習II		○	○		
応用生物学演習I		○	○		
応用生物学演習II		○	○		
生体機能工学実験I		○	○		
生体機能工学実験II		○	○		
応用生物学実験I		○	○		
応用生物学実験II		○	○		
卒業論文		○	○	○	

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	化学を本質的に理解するのに必要な数学、情報技術、自然科学などの基礎知識とそれらを活用できる能力を身につける。
観点(B)	物質を原子・分子レベルで理解、制御、応用するために必要な基礎化学の知識と能力を修得する。
観点(C)	①実践的な研究を実施するのに有用な先端化学分野の知識や先端機器の原理を理解し、それらを様々な問題解決に活用できる能力を身につける。 ②独創的かつ論理的思考をもとに最先端分野の情報や実験機器などを活用して創造的な研究を実施し、情報発信する能力を身につける。
観点(D)	幅広い視野を持つ技術者として国内外で必要となるコミュニケーション能力と教養を身につける。

区分	授業科目	観点				
		A	B	C	D	
全学共通教育科目	工学基礎実験	○	○		○	
	科学技術と社会				○	
	融合科目	○			○	
	共生人文社会科学A				○	
	共生人文社会科学B				○	
	リテラシー科目				○	
	スポーツ健康科学科目				○	
	日本語科目				○	
	日本事情科目					
	線形代数学 I	○				
	微分積分学 I および演習	○				
	物理学基礎演習	○				
	化学基礎		○			
	化学基礎演習		○			
	生物科学	○				
	線形代数学 II	○				
	微分積分学 II および演習	○				
	数理統計学	○				
	熱統計力学	○				
	電磁気学	○				
	力学	○				
	地学	○				
	地学実験	○				
	専門基礎科目	微分方程式 I	○			
		微分方程式 II	○			
		関数論	○			
コンピュータ基礎		○				
力学 II		○				
電磁気学 II		○				
量子化学 I			○			
無機化学 I			○			
無機化学 II			○			
有機化学 I			○			
有機化学 II			○			
有機化学 III			○			
物理化学 I			○			
物理化学 II			○			
物理化学 III			○			

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門基礎科目	無機分析化学		○		
	生物化学 I		○		
	環境物質化学概論		○		
	応用分子化学基礎演習 I		○		
	応用分子化学基礎演習 II		○		
	科学基礎実験	○	○		
	コンピュータ化学			○	
	高分子化学			○	
	有機反応論			○	
	生体有機化学			○	
専門科目	反応速度論			○	
	半導体化学			○	
	応用物理化学			○	
	遷移金属化学			○	
	有機機器分析			○	
	無機機器分析			○	
	物性化学			○	
	量子化学 II			○	
	論文・文献講読			○	
	先端有機工業化学			○	
	エネルギー化学			○	
	生物化学 II		○	○	
	化学工学		○	○	
	応用分子化学特別講義				○
	先端応用化学特別講義				○
	応用分子化学実験 I		○	○	
	応用分子化学実験 II		○	○	
	応用分子化学実験 III		○	○	
	応用分子化学実験 IV		○	○	
	応用分子化学演習			○	
先端応用化学演習			○		
インターンシップ				○	
卒業論文			○	○	

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点 (A)	有機材料化学の基礎となる化学・物理学・物理化学・数学などの自然科学系基礎科目と高分子化学などの専門科目との連携を重視した一貫性のあるカリキュラムを通じて知的好奇心を喚起し、体系的な基礎学力の向上を目指すとともに、サイエンスの本質を深く理解する人材を育成する。
観点 (B)	有機・高分子化合物を中心とした材料に対するキーテクノロジーを将来に向けて継承することができる基盤力と、得られた知識や考え方をもとにネオマテリアルを創製できる展開力を有する人材を育成する。
観点 (C)	有機材料を原子レベルから分子集合体レベルまで洞察する能力を有し、有機材料の合成、構造解析、物性、機能設計、および環境に配慮した応用までを可能にする専門的知識を有する人材を育成する。
観点 (D)	国や専門分野の垣根を越えた多様な社会性や異文化の理解などに通じる教養を身につけるとともに、様々な人達と協働できるコミュニケーション能力を有する人材を育成する。

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
全学 共通 教育 科目	工学基礎実験	○			
	科学技術と社会				○
	融合科目				○
	共生人文社会科学A				○
	共生人文社会科学B				○
	リテラシー科目				○
	スポーツ健康科学科目				○
	日本語科目				
	日本事情科目				
	線形代数学 I	○			
	微分積分学 I および演習	○			
	物理学基礎	○			
	生物科学	○			
	線形代数学 II	○			
	微分積分学 II および演習	○			
	地学	○			
	地学実験	○			
専門 基礎 科目	微分方程式 I	○			
	微分方程式 II	○			
	プログラミング基礎	○			
	力学概論	○			
	振動・波動の物理	○			
	材料電磁気学	○			
	光学基礎	○			
	生物機能化学	○			
	熱力学 I	○			
	熱力学 II	○			
	反応速度論	○			
	量子化学 I	○			
	量子化学 II	○			
	物理化学演習 I	○			
	物理化学演習 II	○			
	化学結合論	○			
	有機化学 I	○			
	有機化学 II	○			
	有機化学 III	●	○		
	有機化学 IV	●	○		

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門 基礎 科目	有機化学演習 I	○			
	有機化学演習 II	●	○		
	無機化学 I	○			
	無機化学 II	○			
	無機化学 III	○			
	分析化学	○			
	科学基礎実験		○	●	
	ベクトル解析	○			
	応用解析	○			
	構造化学	○	●		
専門 科目	統計力学	○	●		
	物性化学		○		
	電気化学		○		
	機器分析		○		
	高分子化学 I	○	●		
	高分子化学 II		○		
	高分子・繊維物理 I	○	●		
	高分子・繊維物理 II		○		
	有機化学 V	○	●		
	生体材料化学	○	●		
	有機工業化学		○		
	化学工学概論	○	●		
	有機材料化学演習 I		●	○	
	有機材料化学演習 II		●	○	
	応用材料科学			○	
	有機材料化学特別講義 I				○
	有機材料化学特別講義 II				○
	有機材料化学実験 I			○	
	有機材料化学実験 II			○	
	有機材料化学実験 III			○	
有機材料化学実験 IV			○		
卒業論文		●		○	

●と○がある場合は、●は主たる関与であることを示す。

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	分子レベルの認識から、マクロな流体等連続体の挙動、熱・物質運動、分離を伴う反応装置・触媒等の開発・設計、より大きな物質・エネルギー変換システムとしての「プロセス」の開発・設計・運転までを見渡して、ケミカルエンジニアとしての各種技術・教育研究活動を推進していく能力を育成する。
観点(B)	原理・原則に基づいた論理的思考と経験的直観力をもとに現象を把握しモデル化して設計に至るまでの自らの考えを論理的に記述し、分かりやすく表現し、国際的な社会に対して伝達する能力を育成する。
観点(C)	使命志向の立場から知識・技術を身につけ、持続的な問題解決・研究開発能力を育成する。
観点(D)	技術者として社会に対する責任を自覚し、経済性、安全性、社会及び環境への影響等を多面的に考慮しながら、対象の本質を理解し、解決すべき工学的課題を自覚し、創造的に解決できる能力を育成する。

区分	授業科目	観点				
		A	B	C	D	
全学共通教育科目	工学基礎実験	○			●	
	科学技術と社会				○	
	融合科目				○	
	共生人文社会科学A				○	
	共生人文社会科学B				○	
	リテラシー科目				○	
	スポーツ健康科学科目				○	
	日本語科目				○	
	日本事情科目				○	
	線形代数学 I	○				
	微分積分学 I および演習	○				
	物理学基礎演習	○				
	化学基礎演習	○				
	生物学基礎	○				
	線形代数学 II	○				
	微分積分学 II および演習	○				
	量子力学概論	○				
	熱力学	○				
	熱統計力学	○				
	電磁気学	○				
	力学	○				
	生物化学	○				
	地学	○				
	地学実験	○				
	専門基礎科目	微分方程式 I	○			
		微分方程式 II	○			
		無機化学基礎	○			
有機化学基礎		○				
有機化学 I		○				
有機化学 II		○				
平衡論		○				
分析化学		○				
機器分析化学		○				
化学工学序論		○				
化学工学基礎		○				
化学プロセス数学		○	●			
情報科学基礎		○				

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門基礎科目	材料科学	○			
	システム工学概論	○			
	科学技術者倫理				○
	科学技術英語	●			○
	化学工学基礎演習 I	○			
	化学工学基礎演習 II	○			
	化学工学基礎ゼミおよび実験	○			
	拡散分離工学および演習	●	○		
	粉粒体プロセス工学	○			
	反応工学および演習	●	○		
専門科目	プロセスシステム工学	○			
	プロセスデザイン工学	○	●	○	
	移動現象論および演習	●	○		
	化学工学熱力学および演習	●	○		
	論文・文献講読		●	○	
	環境工学	○			
	反応速度論	○			
	バイオプロセス工学	○			
	共生科学技術論		○	○	
	エンジニアリング製図		○		
	化学システム工学特別講義				○
	化学システム工学演習		○		
	エンジニアリングプレゼンテーション		●	○	
	モデリング演習		○	○	
	化学システム工学実験 I	●	○		
	化学システム工学実験 II	●	○		
	化学システム工学実験 III	●	○		
	化学システム工学実験 IV	○	●		
	インターンシップ	○		○	
	卒業論文	○	○	○	○

●と○がある場合は、●は主たる関与であることを示す。

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	数学・物理学を中心に、工学系学部卒業生に相応しい自然科学に関する基盤的学力を身につける。
観点(B)	機械工学全般に関する基盤的な知識を身につけた上で、さらに「航空宇宙エネルギーコース」、「車両制御ロボットコース」とより専門化された領域における学識を習得する。
観点(C)	与えられた研究テーマについて、自ら計画を立て、実験・解析を行い、考察・議論できるような能力（知的好奇心、洞察力、想像力）を身につける。その集大成として、機械工学の先端技術とその基盤となる理工学に関して新たな知見をもたらす研究内容を備えた卒業論文を作成する。
観点(D)	国際社会においてさまざまな分野の人々と協働できるエンジニアとなるために、必要なコミュニケーション能力（語学力）と、社会や文化、倫理などに関する教養、センスと理解力を身につける。

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
全学 共通 教育 科目	工学基礎実験	○			
	基礎ゼミ	○	○	○	
	科学技術と社会				○
	融合科目				○
	共生人文社会科学A				○
	共生人文社会科学B				○
	リテラシー科目				○
	スポーツ健康科学科目				○
	日本語科目				○
	日本事情科目				○
	線形代数学 I	○			
	微分積分学 I および演習	○			
	物理学基礎	○			
	物理学基礎演習	○			
	化学基礎	○			
	生物学基礎	○			
	線形代数学 II	○			
	微分積分学 II および演習	○			
	数理統計学	○			
	量子力学概論	○			
	電磁気学	○			
地学	○				
地学実験	○				

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門 基礎 科目	微分方程式 I	○	○		
	微分方程式 II	○	○		
	機械システムデザイン	○	○		
	静力学		○		
	動力学		○		
	機械材料学		○		
	熱工学 I		○		
	機械電子工学 I		○		
	材料力学 I		○		
	流体力学 I		○		
	機械力学 I		○		
	機械加工学 I		○		
	物理数学 I および演習	○	○		
	物理数学 II および演習	○	○		
	機械材料工学 I		○		
	伝熱学 I		○		
	制御工学 I		○		
	機械設計 I		○		
工学倫理		○		○	
科学技術英語		○		○	
関数論	○				

【航空宇宙エネルギーコース】  
専門科目

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門科目	熱工学Ⅱ		○		
	材料力学Ⅱ		○		
	機械材料工学Ⅱ		○		
	伝熱学Ⅱ		○		
	弾性力学		○		
	流体力学Ⅱ		○		
	トライボロジー		○		
	エネルギー変換工学		○		
	エネルギーシステム工学		○		
	塑性力学		○		
	航空宇宙流体力学		○		
	構造材料評価法		○		
	有限要素法および演習		○		
	ガスタービン		○		
	自動車環境工学		○		
	宇宙制御工学		○		
	宇宙推進工学		○		
	機械システム特別講義		○		○
	機械製図法		○	○	
	CAD演習		○	○	
	機械システム設計製図		○	○	
	コンピュータプログラミングⅠ	○	○	○	
	コンピュータプログラミングⅡ	○	○	○	
	材力・機力演習	○	○		
	熱流体演習	○	○		
	機械システム工学実験Ⅰ	○	○	○	
	機械システム工学実験Ⅱ	○	○	○	
	機械システム工学実験Ⅲ	○	○	○	
	インターンシップ		○	○	○
	機械システム特別研究Ⅰ		○	○	
機械システム特別研究Ⅱ		○	○		
卒業論文			○		

【車両制御ロボットコース】  
専門科目

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門科目	機械力学Ⅱ		○		
	機械電子工学Ⅱ		○		
	機械設計Ⅱ		○		
	機械加工学Ⅱ		○		
	制御工学Ⅱ		○		
	メカトロニクス		○		
	ロボット工学		○		
	光工学		○		
	MEMS		○		
	管理工学		○		
	車両工学		○		
	計測・信号処理工学		○		
	人体運動学		○		
	振動制御および演習		○		
	宇宙制御工学		○		
	生産システム工学		○		
	自動車環境工学		○		
	機械システム特別講義		○		○
	機械製図法		○	○	
	CAD演習		○	○	
	機械システム設計製図		○	○	
	コンピュータプログラミングⅠ	○	○	○	
	コンピュータプログラミングⅡ	○	○	○	
	材力・機力演習	○	○		
	熱流体演習	○	○		
	機械システム工学実験Ⅰ	○	○	○	
	機械システム工学実験Ⅱ	○	○	○	
	機械システム工学実験Ⅲ	○	○	○	
	インターンシップ		○	○	○
	機械システム特別研究Ⅰ		○	○	
機械システム特別研究Ⅱ		○	○		
卒業論文			○		

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	①物理学および数学を中心に自然科学関連の基礎知識を修得する。 ②多様かつ複雑な工学的な課題に対して、客観的なデータに基づき、論理的に推論を進めて結論を導くための能力（学習力、分析力）を身につける。
観点(B)	①力学、電磁気学、熱統計力学、量子力学、物理数学など物理学の基礎を体系的に理解し、その基本原理を身につける。 ②物理システム工学を展開する際に必要となる技術、スキルを身につける。 ③多様かつ複雑な工学的な課題に対して、物理学的な視点・方法から問題を発見・分析するのに必要な専門知識を身につける。
観点(C)	既成の枠にとどまらず、多分野を統合発展させ、新しい分野を開拓する能力（企画設計力、論理的発信力）を身につける。
観点(D)	分野を問わず広く社会で直面する課題を、実践的に解決するのに基礎となる教養を身につける。

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
全学共通教育科目	工学基礎実験				○
	科学技術と社会				○
	融合科目				○
	共生人文社会科学A				○
	共生人文社会科学B				○
	英語				○
	第二外国語				○
	スポーツ健康科学				○
	日本語科目				
	日本事情				
	線形代数学 I	○			
	線形代数学 II	○			
	微分積分学 I および演習	○			
	微分積分学 II および演習	○			
	化学基礎	○			
	物理化学	○			
生物学基礎	○				
地学	○				
地学実験	○				
専門基礎科目	微分方程式 I	○			
	関数論	○			
	幾何学	○			
	代数学 I	○			
	力学入門	○	○		
	電磁気学入門	○	○		
	物理システム工学基礎実験	○	○		
	力学 I		○		
	力学演習		○		
	物質科学入門		○		
	環境科学		○		
	エネルギー科学		○		
	物理数学 I		○		
	物理数学演習		○		
物理数学 II		○			
力学 II		○			
電磁気学 I		○			
電磁気学演習		○			
電磁気学 II		○			

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門科目	振動・波動		○		
	熱物理学入門	○	○		
	熱統計力学		○		
	熱統計力学演習		○		
	量子力学入門	○	○		
	量子力学 I		○		
	量子力学演習		○		
	量子力学 II		○		
	コンピュータ基礎実験		○		
	コンピュータ解析および演習		○		
	物理実験学		○		
	電気回路		○		
	電子回路		○		
	計測・制御回路		○	○	
	物理プレゼンテーション I			○	○
	物理プレゼンテーション II			○	○
	物理システム工学実験 I		○	○	
	物理システム工学実験 II		○	○	
	物理システム工学実験 III		○	○	
	物理システム工学実験 IV		○	○	
	波動物理		○		
	フォトンクス		○		
	量子エレクトロニクス		○		
	化学物理		○		
	固体物理 I		○		
	固体物理 II		○		
	量子力学特論		○		
	原子分子物理		○		
	連続体物理		○		
	特別ゼミ		○	○	
	物理システム工学特別講義 I		○		
物理システム工学特別講義 II		○			
自由課題実験 I		○		○	
自由課題実験 II		○		○	
自由課題実験 III		○		○	
自由課題実験 IV		○		○	
卒業論文		○	○	○	

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	電気電子工学の基礎を理解するのに必要な数学・物理学・化学・地学・生物学などの自然科学の基礎的能力を修得する。
観点(B)	①電気電子工学に関する基盤的な知識を体系的に修得する。 ②先端的なシステムエレクトロニクスの構築や電子情報通信技術の創出に必要な専門知識とその活用力を身につける。 ③電気電子工学の本質的理解および発展に欠かせない実験・解析スキルを体系的に習得する。
観点(C)	電気電子工学に関する問題を創造的に解決できるような調査力および議論能力を身につける。
観点(D)	①国際的に産業技術の発展に貢献できるだけのコミュニケーション能力とスキルを身につける。 ②自らの考え方を論理的に記述し国際社会に対して分かりやすく伝達する能力を身につける。 ③国際社会において、様々な人々と協調できるコミュニケーション能力と一般教養を身につける。

区分	授業科目	観点				
		A	B	C	D	
全学共通教育科目	工学基礎実験				○	
	科学技術と社会				○	
	融合科目				○	
	共生人文社会科学A				○	
	共生人文社会科学B				○	
	リテラシー科目				○	
	スポーツ健康科学科目				○	
	日本語科目				○	
	日本事情科目				○	
	線形代数学 I	○				
	微分積分学 I および演習	○				
	物理学基礎	○				
	物理学基礎演習	○				
	化学基礎	○				
	生物学基礎	○				
	線形代数学 II	○				
	微分積分学 II および演習	○				
	数理統計学	○				
	量子力学概論	○				
	熱統計力学	○				
	物理化学	○				
	地学	○				
	地学実験	○				
	専門基礎科目	微分方程式 I	○			
		コンピュータ基礎演習		○		
		基礎電気回路 I および演習		○		
		基礎電気回路 II および演習		○		
ベクトル解析および演習			○			
フーリエ解析および演習			○			
電気電子材料			○			
電磁気学 I および演習			○			
電磁気学 II および演習			○			
電子デバイス I および演習			○			
基礎電子回路および演習			○			
論理回路および演習			○			
プログラミングおよび演習			○			
専門科目		微分方程式 II		○		
	関数論		○			

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門科目	回路網理論		○		
	デジタル電子回路		○		
	計測工学		○		
	制御工学		○		
	マイクロプロセッサ		○		
	電気電子機器		○		
	光工学		○		
	光エレクトロニクス		○		
	電子物性工学		○		
	電子デバイス II		○		
	パワーエレクトロニクス		○		
	エネルギーネットワーク工学		○		
	高電圧工学		○		
	電力工学		○		
	信号処理		○		
	画像情報工学		○		
	システム L S I 工学		○		
	通信工学		○		
	通信システム工学		○		
	電磁波工学		○		
	高周波伝送工学		○		
	オブジェクト指向プログラミング		○		
	計算工学基礎		○		
	電気法規および施設管理		○		
	論文・文献講読		○		○
	電気電子工学特別講義		○	○	○
	電気電子製図		○		
	電子情報工学製図		○		
	電気電子工学実験 I		○	○	○
	電気電子工学実験 II A		○	○	○
	電気電子工学実験 II B		○	○	○
	電気電子工学実験 III A		○	○	○
	電気電子工学実験 III B		○	○	○
	卒業論文				○ ○



本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー	
観点(A)	工学者としての基礎となる、数学を中心とした自然科学に関する基礎学力・知識を習得する。
観点(B)	①情報工学の専門家としての基礎をなす、コンピュータ科学・コンピュータ工学の基礎理論を身につける。 ②新たな情報技術やシステムを自律的に考案・設計・開発するために必要な専門知識を身につける。
観点(C)	①理論に基づいて情報システムを設計し動作させ、その結果を分析して改善する実践的能力を身につける。 ②情報工学の発展に寄与する創造的な研究を行う能力を身につける。
観点(D)	国内外で様々な人たちと協働できる技術者となるために必要なコミュニケーション能力と教養を身につける。

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
全学共通教育科目	工学基礎実験	○			
	科学技術と社会				○
	融合科目				○
	共生人文社会科学A				○
	共生人文社会科学B				○
	リテラシー科目				○
	スポーツ健康科学科目				○
	日本語				○
	日本事情科目				○
	線形代数学 I	○			
	微分積分学 I および演習	○			
	物理学基礎	○			
	物理学基礎演習	○			
	化学基礎	○			
	線形代数学 II	○			
	微分積分学 II および演習	○			
	数理統計学	○			
	電磁気学	○			
	地学	○			
	地学実験	○			
専門基礎科目	微分方程式	○			
	関数論	○			
	幾何学	○			
	代数学 I	○			
	数学基礎	○			
	コンピュータ序論		○		
	プログラミング序論		○		
	コンピュータ序論演習			○	
	プログラミング序論演習			○	
	先進情報工学演習 I			○	
	情報化社会と職業				○
	科学技術表現法				○
	言語情報文化論				○

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
専門科目	プログラミング基礎		○		
	電気・電子回路		○		
	論理回路		○		
	アルゴリズム序論		○		
	情報数学		○		
	情報理論		○		
	プログラミング基礎演習			○	
	ハードウェア実験			○	
	アルゴリズム序論演習			○	
	計算機アーキテクチャ演習			○	
	情報理論演習			○	
	情報数学演習			○	
	情報工学実験A			○	
	情報工学実験B			○	
	論文・文献講読		○		
	先進情報工学演習 II			○	
	卒業論文			○	
	先進情報工学実験 I ~IV			○	
	オブジェクト指向プログラミング		○		
	ソフトウェア工学		○		
	情報工学特別講義		○		
	インターンシップ		○		
	集積回路		○		
	オペレーティングシステム		○		
	言語処理系		○		
	計算機ネットワーク		○		
	データベース		○		
	アルゴリズム論		○		
	関数プログラミング		○		
	人工知能		○		
	オペレーションズ・リサーチ		○		
	コンピュータグラフィックス		○		
ヒューマンインタフェイス		○			
信号処理論		○			
計測・制御工学		○			
パターン認識		○			
画像工学		○			